

2025年台湾退輔会・SSRI交流

実施期間：2025年11月20日、12月7日

開催地：台北（第7回）、東京（第8回）

参加機関：台湾行政院退除役官兵輔導委員会及び日本安全保障戦略研究所

交流の歴史的背景：台湾退輔会とSSRIの交流は長年にわたり継続されており、両機関は日台間の退役軍人(OB)交流と戦略対話において重要な役割を果たしてきた。本交流は両国・地域の安全保障協力深化と相互理解促進に大きく貢献している。

目的：SSRIの戦略的シンクタンク機能の活用

専門的助言・支援の提供：①台湾の戦略・軍事分野における政策立案支援、②最新の安全保障動向分析と情報提供、③戦略的思考力向上のための研修・セミナー実施

日台軍事交流の促進：①退役軍人間の人的ネットワーク構築支援、②軍事専門知識の共有と相互学習機会創出、③非公式外交チャンネルとしての機能発揮

退輔会の日本連絡窓口機能：①重要な交流ツールとしての位置づけ、②台湾退輔会の日本における主要パートナー、③両国退役軍人コミュニティ間の橋渡し役、④継続的対話と協力関係の維持・発展、⑤多層的協力関係の構築、⑥政策レベルから実務レベルまでの包括的連携、⑦退役軍人の社会復帰支援における経験共有、⑧福祉・医療分野での協力可能性探索

国際戦略レベルでの相互支援・交流の内容

①**戦略環境認識の共有**（地域安全保障情勢の分析、中国の軍事力拡張と地域への影響評価、北朝鮮情勢と朝鮮半島安定への共同対応、ロシア・ウクライナ戦争の東アジアへの波及効果）

②**共通脅威への対処方針**（サイバー攻撃・情報戦への協調対応、海上交通路安全確保の重要性認識、災害時における相互支援体制構築）

③**戦略的協力の深化と政策提言機能の強化**（両国政府への共同政策提言の可能性、国際会議・フォーラムでの連携強化、第3国に対する共同アプローチの検討）

結論：台湾退輔会とSSRIの交流は、台日間の戦略的パートナーシップ深化において不可欠な役割を果たしている。退役軍人という共通基盤を活用した専門的対話は、両国・地域の安全保障協力に実質的価値を提供している。国際戦略レベルでの相互支援・交流は、変化する地域安全保障環境への効果的対応能力を向上させ、平和と安定の維持に重要な貢献を果たしている。今後の継続的発展により、日台関係の新たな次元における開拓が期待される。

